

NMP代替品拡販

林純薬 レジスト剥離液や溶剤

【大阪】林純薬工業(大阪市)は、Nメチル-2ピロリドン(NMP)

代替製品の提案活動に拍車をかける。すでにNMPフリーレジスト剥離液

とNMPフリー溶剤を販売しているが、今後2億3億円に拡大させる考

えているが、今後2億3億円に拡大させる考

え。
NMPは優れた有機溶剤としてグローバルで広く用いられている。ただ、生殖毒性が懸念され欧州のREACH規制で制限

対象物質に指定されるなど、世界各地で利用に制限がかかり始めている。こうした動きを受け、

林純薬工業は約5年前にNMP代替製品の調査に乗り出した。同社は外部から調達するNMPを活用したレジスト剥離液を複数種類品揃えしており、半導体や電子部品の製造工程で使用されている。また、NMPの品質保証を行い、ユーザーが扱いやすい容器に入れて有機溶剤として販売していた。研究開発を担うテクノセンター(三重県多気町)では今後、規制対象となりそうなものを除外するなど既存のNMP関連製品ごとに最適な化合物を見つけ出し、2020年ごろから順次NMP代替製品を拡充してきた。

いる。近い将来にわたって各国・各地域の使用規制に該当しない化合物を利用しているといった点を訴求し

拡販していく。現在、NMP代替製品は切りの替えを除く新規採用で年間1億円超を売り上

り、半導体や電子部品の製造工程で使用されている。また、NMPの品質保証を行い、ユーザーが扱いやすい容器に入れて有機溶剤として販売していた。研究開発を担うテクノセンター(三重県多気町)では今後、規制対象となりそうなものを除外するなど既存のNMP関連製品ごとに最適な化合物を見つけ出し、2020年ごろから順次NMP代替製品を拡充してきた。



テクノセンターでNMP代替

製品を生み出した

り、半導体や電子部品の製造工程で使用されている。また、NMPの品質保証を行い、ユーザーが扱いやすい容器に入れて有機溶剤として販売していた。研究開発を担うテクノセンター(三重県多気町)では今後、規制対象となりそうなものを除外するなど既存のNMP関連製品ごとに最適な化合物を見つけ出し、2020年ごろから順次NMP代替製品を拡充してきた。

り、半導体や電子部品の製造工程で使用されている。また、NMPの品質保証を行い、ユーザーが扱いやすい容器に入れて有機溶剤として販売していた。研究開発を担うテクノセンター(三重県多気町)では今後、規制対象となりそうなものを除外するなど既存のNMP関連製品ごとに最適な化合物を見つけ出し、2020年ごろから順次NMP代替製品を拡充してきた。

り、半導体や電子部品の製造工程で使用されている。また、NMPの品質保証を行い、ユーザーが扱いやすい容器に入れて有機溶剤として販売していた。研究開発を担うテクノセンター(三重県多気町)では今後、規制対象となりそうなものを除外するなど既存のNMP関連製品ごとに最適な化合物を見つけ出し、2020年ごろから順次NMP代替製品を拡充してきた。